

平成25年度 自 己 評 価 表

中長期目標 (学校ビジョン)		技術を研ぎ、身体を鍛え、心を開くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたくまい力と、感動したり他者を思いやるあたかな心を兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。		今年度の重点目標		1. 確かな学力の育成 2. 豊かな人間性の育成 3. キャリア教育の充実と生徒の進路実現	鳥取県立鳥取工業高等学校	
評価項目		評価の具体項目		年度 当 初		目標達成のための方策		経過・達成状況
				目標(年度末の目指す姿)		評価 結 果 () 月		改善方策
1	確かな学力の育成	① 授業改善と学力の定着	○授業評価アンケート結果及び活用 ○基礎力診断テスト結果及び課題 ○全国工業高校校長会主催標準テスト結果 ○「5S」、「あさひ」の取組 ○公開授業	・生徒の授業満足度は概ね良好 ・学習状況や理解度を把握 ・授業改善に活用 ・基礎学力の定着に課題 ・意欲喚起に課題 ・一部の科目で目標未達成 ・全体的には定着 ・授業開始・終了の挨拶や学習環境を改善 ・授業前の教材準備の徹底に課題 ・多くの教科で実施	【授業改善】 ・生徒の理解度、学習意欲を高めるための改善を実施 【基礎学力の育成】 ・(工業科)専門教育に対応できる基礎学力の育成 ・生徒個々の基礎学力の把握と指導の徹底 【学習環境の整備】 ・基本的な学習習慣の確立(「5S」、「あさひ」の徹底)	【授業改善】 ○調査、模試、資格試験等の分析・活用 ○授業評価アンケートの活用 ○各種研修会への参加及び内容の伝達 【基礎学力の育成】 ○(新)学力向上委員会による組織形成 ○(工業科)基礎力診断テスト等の活用 ○(工業科)数学基礎演習(1年生)の実施 ○進字補習、個別指導の充実 ○課題、小テストの実施 【学習環境の整備】 ○教室美化の徹底 ○学習準備・着席・挨拶の徹底 ○提出物期原厳守の徹底	・個人面談等の充実 ・公開・研究授業(年2回以上参加)の充実、教材研究の充実 ・スキルアップ、教職員の見学理解 ・組織的な授業改善の促進	
			○進路行事等の取組 ○生徒の学習状況 ○朝読書	・新規事業の効果もあり、生徒の進路意識が向上 ・3者個人相談会(ハローワーク職員・生徒・保護者)、1年生キャリア教育を実施 ・学習時間は工業学科がやや増加、理数学科がやや減少(H23・H24年度自宅学習割合比較) ・一部の科で学習スペースを開放(学校での自主学習) ・目標設定が不十分 ・定着 ・高い貸し出し冊数を維持	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ・各分業・教科の諸活動を通して生徒の学習意欲を喚起 ・進路・学習目標の確立を支援し、自宅学習の習慣化を促進	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ○各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ○シラバスの活用 ○課題・小テストの実施 ○自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・個人面談等で利用 ・学習の全体像を提示 ・生徒の理解度を把握、自宅学習の推進	
2	豊かな人間性の育成	① 互いを尊重する態度と社会性の涵養	○人権・性教育LHR、保育実習・シニア体験 ○ハイパー・Q U ○いじめアンケートの活用 ○人権教育校外研修「一人一研修」	・生徒は生命、人権尊重の大切さを思科 ・学年別研修会及び職員会議にて全職員に周知 ・クラスや生徒の課題を分析及び対策(クラスのルールづくり等) ・問題の早期把握 ・全職員で取組む体制を強化 ・いじめ対策マニュアルの改善 ・取組みが向上	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ・生徒の自己肯定感・自己受容感の向上 ・共に認め合い、互いの個性を尊重しあえる人間関係の構築 【人権教育の推進】 ・教職員研修を通して自己の振り返り ・教職員間連携、関係機関との連携による問題の早期対応	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ○人権教育・性教育LHRの充実 ○性教育LHR ○ハイパー・Q U調査の分析・活用 【人権教育の推進】 ○一人一研修の徹底 ○生徒情報の把握 ○専門機関との連携	・人権意識の高揚、他者の人権・存在を尊重する態度の育成 ・WYSH教育(1年生)の実践 ・生徒理解、クラスの目標の設定、集団規律の形成 ・校外の人権教育研修への自発的参加の呼びかけ ・各学年・各分掌の連携、密な情報交換	
			○基本的な生活習慣の確立 ○ボランティア活動 ○部活動、生徒会活動 ○安全教育	・「5S」、「あさひ」は概ね定着 ・前切厳守(時間・提出物)の徹底、欠席・遅刻・早退等に課題 ・活発化(H24:テラ・ボランティアに25名参加等) ・大会結果をHPで紹介 ・生徒会活動が活発化(生徒会長等への立候補者数増加等) ・他者への思いやりについて考える場を提供(生徒会主催募金活動等) ・自転車安全教室を開催し、交通安全について啓発活動を実施	【基本的な生活習慣の確立】 ・自ら挨拶のできる生徒の育成 【ボランティア活動の推進】 ・社会の一員としての自覚、思いやり的心を育成 【部活動や生徒会活動の推進】 【環境改善】 ・環境改善の意識向上、取り組み強化 【安全教育の推進】	【基本的な生活習慣の確立】 ○「5S」、「あさひ」の徹底 【ボランティア活動の推進】 ○テラ・ボランティア・家庭クラブ活動の推進 【部活動や生徒会活動の推進】 ○各クラス役員活動の活性化 【環境改善】 ○TEAS講演会、環境LHR等の実施 ○ゴミの分別、節電・節水の取り組み強化 【安全教育の推進】 ○交通安全教室、薬物乱用防止教室の開催 ○携帯電話マナーの向上	・日々の授業や学校行事を通して啓発 ・参加の呼びかけ	
3	キャリア教育の充実と生徒の進路実現	① 専門的な知識・技術の習得	○「工業技術基礎」(共通実習) ○資格取得指導 ○「5S」 ○インターンシップ ○鳥工版デュアルシステム ○企業見学 ○ものづくり教育	・各専門科の特色を活かし、基礎的・基本的な内容を指導 ・「ポート」内容、提出・時間厳守、集合場所の確認等の指導の徹底に課題 ・「国家資格・検定取得ガイドブック」に則り、適切な時期に案内・早朝・放課後補習や社会人講師による実技指導等を実施 ・昨年度、取得率は科によって異なり ・昨年度、3年生の一人一資格を実現できず ・上級資格取得の生徒は増加 ・必要性を理解することはできたが、実践力の育成に課題 ・校内環境の不備点について迅速に対応、改善 ・県東部の企業6社と連携 ・(H24)工業学科2年生13名が参加 ・協力企業数不足により、数社の企業が多数の生徒を受け入れ	【工業技術基礎(共通実習)の充実】 ・カリキュラムの充実 ・指導方法の充実・研究 【人材育成】 ・各工業分野の基礎的・基本的な知識と技能の養成 ・専門性の深化による資格社会に対応する能力の養成 ・勤労観・職業観等の価値観の形成支援 ・社会的・職業的な自立支援 ・ものづくり企業で期待される能力の養成	【工業技術基礎(共通実習)の充実】 ○各小・学科共通の指導内容のガイダンスを充実及び事前指導時間を十分に確保 ○レポート内容の充実 【人材育成】 ○資格取得指導補習の徹底 ○体験活動の充実 ○「5S」、「あさひ」の徹底 ○「ものづくり」に積極的にかかわろうとする人材の確保	・言語活動の一環 ・早朝・放課後補習 ・生徒への早期受験案内の実施 ・鳥工版デュアルシステム、企業見学、インターンシップ等の実施 ・事前指導内容の充実と徹底 ・整理・整頓・清掃等を実習終了5分前に実施	
			○企業との連携 ○資格・進字補習 ○進路指導の環境整備 ○面接指導 ○進路関連行事 ○挨拶、身だしなみ等 ○産業界との連携 ○情報発信 ○地域との連携 ○科別PTA	・企業見学、インターンシップ等を実施 ・「ポート」内容、提出・時間厳守、集合場所の確認等の指導の徹底に課題 ・来入票等の進路情報を迅速に入手できる環境の整備 ・校内外の面接指導を強化 ・多くの3年生の面接に臨む意識が向上 ・就職希望者の1次内定率が一昨年度比約10％上昇 ・昨年度、就職ガイダンスに参加した生徒は20名から73名と大幅に増加 ・昨年度、ものづくり講演会・探検隊、先輩を囲む会等を実施 ・適切な指導により改善 ・インターンシップ、鳥工版デュアルシステム、社会人講師事業等を実施し、連携強化 ・HPの適切な更新の徹底等、活発化 ・中学校体験入学での参加者が増加 ・高校生マナーアップさわやか運動や「桜々丘グリーンゾーン」での清掃活動実施 ・「津ノ井地域文化祭」、「鳥取県技能祭」が特に好評 ・例年通り多くの保護者参加 ・本校における教育活動への保護者の理解が得られるい機会	【職業意識の育成】 ・企業での体験活動等により、職業・勤労意識を育成 【進路指導の徹底】 ・学力向上 ・進路目標の早期設定 ・進路目標の実現のための取り組みの推進 【人材育成】 ・企業が求める人材や地域の担い手の育成 【情報発信】 ・地域や小学校・中学校等への積極的な情報発信 【地域との連携】 ・各種事業を通じて地域と連携した貢献活動の実施 【PTA活動の推進】 ・本校の教育活動への理解の深化 ・生徒指導・支援の充実	【職業意識の育成】 ○各事業の推進 【進路指導の徹底】 ・面接試験、就職試験、入試、資格取得対策 ・校内外の面接指導 ・個人面談実施等により、具体的進路目標の早期設定 ○基本的な生活習慣の確立 ○校外の進路行事 【人材育成】 ○各事業の推進 【情報発信】 ○鳥工のPR強化 【地域との連携】 ○各行事への参加 【PTA活動の推進】 ○科別PTA等の公開学校行事による保護者や地域との連携強化	・企業見学、インターンシップ、鳥工版デュアルシステム、社会人講師事業等の積極的活用 ・ものづくり講演会、探検隊、先輩を囲む会などの有効活用 ・面接試験、就職試験、入試、資格取得対策 ・校内外の面接指導 ・個人面談実施等により、具体的進路目標の早期設定 ・日常的な挨拶、言葉遣い、身だしなみの指導 ・積極的参加の啓発 ・企業見学、インターンシップ、鳥工版デュアルシステム、社会人講師事業等の実施 ・産業界との連携強化 ・HP内容の充実 ・出前授業、科学広場等の実施 ・高校生マナーアップさわやか運動や「テラ・ボランティア」、「津ノ井地域文化祭」、「技能祭」等	

注) 5S:整理・整頓・清掃・清潔・整頓 あさひ:挨拶・作法・人の話を聞く

評価基準 A:十分達成【100%】 B:概ね達成【80%程度】 C:変化の兆し【60%程度】 D:まだ不十分【40%程度】 E:目標・方策の見直し【20%程度】